

2025年度新任役員候補者一覧

任期は2027年度3月開催の定時社員総会最終時まで

ロボット工業会は2021年から会員（企業会員）

理事

安井 裕司（株）本田技術研究所

1992年と1994年に東京理科大学にて機械工学の学士と修士を取得、2012年に上智大学にて博士を取得。1994年に（株）本田技術研究所へ入社し、適応制御、モデル予測制御、ニューラルネットワークを用いた低公害車やHEVのためのパワートレイン制御、F-1用トーションコントロール、トランスミッション制御やデバイス制御の研究に従事。1997年、1999年にそれぞれ、世界初となるULEV (Ultra Low Emission Vehicle) and SULEV (Super Ultra Low Emission Vehicle)を実現。現在、AIや先進制御技術を用いた自動運転、運転支援システム、移動ロボットの研究を行う先進技術研究所知能化領域の統括エグゼクティブチーフエンジニア。自動車制御とモデリング研究技術専門委員会（JSAE自動車技術会）とSICEの合同委員会の委員長、SICE会誌出版理事、SICE AC 2015(中国)、SICE AC 2016(つくば)の実行委員(特別企画担当) IFAC AAC 2013の実行委員(特別企画/バンケット/会場運営担当)などを歴任。

小松 真弓（パナソニックホールディングス（株））

1999年京都大学工学部物理工学科機械システム学コース卒業。2001年京都大学大学院情報学研究科システム科学専攻修士課程修了。2007年1月松下電器産業（現パナソニックホールディングス）（株）入社、現在に至る。空気圧人工筋を用いた家庭用アームロボット、生産現場向けパワーアシストアームの開発、ワイヤ駆動型歩行アシストスーツ、人間拡張ロボットなど、主に力制御、人機械協調系の研究開発に従事。現在、パナソニックホールディングス（株）MI本部 先端メカトロニクスシステム開発センターにおいて、力制御をより簡単に実現できることを目指してAI×ロボット×力制御の開発に従事。ISCIE 編集委員、RSJ 研究奨励賞選考小委員会委員を歴任。

西尾 唯（本田技研工業（株））

早稲田大学大学院卒業後、本田技研工業へ入社。ディーゼルエンジンの開発担当者として制御設計から実車耐久、ドライバビリティまで幅広く量産開発を経験。その後、コネクテッドを活用したハイブリッドパワートレインの最適制御システムの開発を開発責任者として推進。2021年に上智大学にて制御工学の学位を取得。現在、電気自動車の充電サービスシステムの開発及びV2G (Vehicle to Grid) のための制御システム開発及び実証実験を主軸。ディーゼルエンジンの空気量制御やモデルベース適合技術について、自動車技術会やSICEにて論文投稿や講演を実施。V2Gのための調整力予測技術について、自動車技術会誌に掲載。2020年SICEプラントモデル部会幹事、2023ECOSM、SICE2023の運営委員を担当。また、2022-2023にSICE会誌委員会委員を務め、特集誌を発行。

原田 豊（アズビル（株））

1991年電気通信大学電気通信学部機械工学科卒業。同年、山武ハネウエル株式会社（現アズビル株式会社）入社。生産技術開発・ロボット研究開発・製品開発などで主に機械設計・自動化技術開発に従事。SICEは、2013年から会員、途中、システムインテグレーション分野の論文集委員を数年担当。ロボット関連では、日本ロボット学会が2010年以前から、日本ロ

来海 暁（大阪電気通信大学）

1993年東京大学工学部計数工学科卒業。1999年同大学院工学系研究科計数工学専攻博士課程修了、博士（工学）取得。1999年同大学院工学系研究科 助手、2001年大阪電気通信大学総合情報学部情報工学科 講師、2004年同総合情報学部情報工学科 助教授、2009年同情報通信工学部情報工学科 教授に従事。計測部門センシングフォーラム運営委員会幹事、会誌編集委員会委員、論文集委員会委員、計測部門センシングフォーラム運営委員会主査、英文論文集委員会計測部門エディタ、電気学会「多次元センシングの産業応用に関する調査専門委員会」委員、日本鉄鋼協会計測制御システム工学部会「計測制御システム分野における産学若手交流フォーラム」座長、科学技術交流財団「多次元センシング技術の実社会システムへの適用に関する研究会」委員、Optical Review Topical Editorなどを歴任。

亀崎 允啓（東京大学）

2010年早稲田大学創造理工学研究科総合機械工学専攻博士後期課程修了。博士（工学）。同大学助手、同大学理工学術院総合研究所研究員講師、研究員准教授を経て、2023年より東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻特任教授、現在に至る。2017年JST さきがけ「社会システムデザイン」領域研究者。人共存モビリティ、機能性材料を用いたスマートデバイス、AIを活用したヒューマンセンシングとサポート、建設・災害対応・インフラ点検ロボットに関する研究に従事。2022年科学技術分野の文部科学大臣表彰・若手科学者賞、同年IEEE Robotics and Automation Letters Best Paper Award受賞。日本ロボット学会、日本機械学会、IEEEなどの会員。SICE論文集 Associate Editorなどを歴任。

青山 忠義（名古屋大学）

名古屋大学工学部を卒業後、同大学大学院で博士後期課程を修了。広島大学助教、名古屋大学助教・准教授を経て、現在は名古屋大学大学院工学研究科教授。実時間画像計測とマクロ・マイクロ・インタラクションの研究分野で顕著な成果を挙げ、またSICEシステムインテグレーション部門で庶務幹事等を務めた。

恩田 佳則（（株）チノー）

1992年チノーへ入社。計装部門にて温度計測・制御・監視システムや校正装置を担当。1999年からは藤岡事業所にて電力調整機器、チャート式記録計の製品開発を担当。2012年からは久喜事業所にて赤外線を利用した熱画像計測装置・放射温度計の製品開発を担当。現在はこれら開発の責任者として従事。

北田 宏（日本製鉄（株））

1991年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了、2005年京都大学大学院情報学研究科博士後期課程修了。博士（情報学）。1991年住友金属工業（株）（現日本製鉄（株））入社。以来総合技術研究所・技術開発本部において主に製鋼および連続鋳造におけるモデリングと制御技術に関する研究開発に従事。現在同社技術開発本部プロセス研究所インテリジェントアルゴリズム研究センター主席研究員。計測自動制御学会、システム制御情報学会、日本鉄鋼協会の会員。

SICE では、論文集委員会委員、制御部門 制御技術部会主査、日本鉄鋼協会では計測・制御・システム工学部会運営委員、システム制御情報学会では、常任理事、また IFAC TC 6.2 Member を歴任。

河合 宏之 (金沢工業大学)

1999 年金沢大学工学部電気・情報工学科卒業、2001 年、2004 年同大学院博士前期課程、後期課程修了、同年法政大学情報技術 (IT) 研究センターポストドクター、2005 年金沢工業大学講師、2010 年同准教授、2013 年米国フロリダ大学客員研究員、2018 年金沢工業大学教授。

IEEE Control Systems Society (CSS) 、IEEE RAS 、IEEE EMBS、IEEE IES、IEEE SMC、システム制御情報学会に所属。SICE 北陸支部 幹事、庶務幹事、副支部長、支部長、SICE 論文集委員会 委員、AE などを経験。2008 年 IEEE Transactions on Control Systems Technology 最優秀論文賞を受賞。

金正勳 (POSTECH)

Jung Hoon Kim received the B.E. degree in Electrical and Electronic engineering, M.E. and Ph.D. degrees in Electrical Engineering from Kyoto University, Kyoto, Japan, in 2012, 2014 and 2015, respectively, under Professor Tomomichi Hagiwara. He served as a Young Scientist Research Fellow of the Japan Society for the Promotion of Science (JSPS), DC1, from 2014 to 2015 and a JSPS Post-Doctoral Research Fellow with Kyoto University in 2015, for two months. He was a Post-Doctoral Researcher and a Senior Research Scientist at the Center for Intelligent & Interactive Robotics, Korea Institute of Science and Technology (KIST), from June 2015 to March 2019. Since April 2019, he has been with the Department of Electrical Engineering, Pohang University of Science and Technology (POSTECH), where he is currently an Associate Professor. His research interests include control theory and applications such as sampled-data systems, event-triggered systems, time-delay systems, robotics and power systems.

監 事

市村 匠 (県立広島大学)

1967 年東京都生まれ。桐蔭学園高等学校卒業後、一期生として 1997 年桐蔭横浜大学大学院工学研究科博士後期課程修了、博士 (工学)、1997 年広島市立大学情報学部助手、2010 年県立広島大学経営情報学部准教授、2014 年教授、2015 年地域連携センター長を兼任し、地域貢献、産学官連携、知財管理を担当。2019 年学内に研究センターを設置し、これらを所管する地域基盤研究機構を新たに設置し、初代機構長を務めた。国・県・市町と協働し、研究・産学連携の面から活動を推進した。また、学内に高度人工知能研究センターを設置し、学外との共同研究を推進し、複数の研究課題が学研の他、サポイン、SCOPE、NICT 等から採択された。これまでに関連した多くの外部委員 (産学連携、地方創生等) を務めた。2020 年地域創生学部にて改組され、教授として教育・研究を担当している。

これまでにニューラルネットワーク、ファジィ、進化計算など計算知能に関する研究に従事していたが、現在は主に深層学習の理論的・応用研究に従事し、自己組織的にネットワークを構築する手法を提案した。これまでに、日本知能情報ファジィ学会理事、IEEE SMC Hiroshima Chapter Chair を担当した。SMC では若手研究者の育成、産学連携など、支部活動を活発にし、広島支部が表彰されるまでに成長させた。

黒崎 淳 (アズビル (株))

1990 年 東京工業大学制御工学科卒業。同年、山武ハネウエル株式会社 (現、アズビル株式会社) 入社。現在、アズビル株式会社 AI ソリューション推進部に所属、主として AI 関連技術の 開発・ビジネス応用に従事。特に DR・VPP 事業を担当。

SICE では、制御部門制御技術部会委員を経て、制御部門財務委員会 副委員長/委員長、会誌出版委員会 委員/小委員会主査、財務理事などを歴任。JEMIMA : エネルギー環境政策委員会委員、エネルギー低炭素政策委員会委員、エネルギーイノベーション委員会 委員/副委員長/委員長、FEMS 国際標準化推進委員会 委員/幹事を歴任。